

都市計画(土地利用)の見直し方針に関する意見募集の結果について

令和2年11月24日(火曜日)から令和2年12月24日(木曜日)までの期間で、都市計画(土地利用)の見直し方針(案)に関する意見募集を実施し、その結果及び意見に対する回答がまとまりましたのでご報告します。

なお、意見の内容につきましては、原文を一部要約しています。

1 意見件数 3件(2名、1団体)

2 提出方法

方 法	人数・団体	件 数
持 参	1名	4件
郵 送	—	—
電子申請	1名、1団体	7件
F A X	—	—
合 計	2名、1団体	11件

3 意見の内訳

区 分	件 数
1. 都市計画(土地利用)の見直しに取り組む背景と目的	—
2. 久留米市が抱える土地利用の課題	3件
3. 市民生活に関わる主な課題と対応	4件
4. 都市計画(土地利用)見直しの考え方	—
5. スケジュール(予定)等	—
6. 用語の解説	—
その他(計画全体に関する意見等)	4件
合 計	11件

4 意見の概要とそれに対する市の考え方

別紙のとおり

都市計画（土地利用）の見直し方針（案）に対する意見の概要及び市の考え方

1. 都市計画（土地利用）の見直しに取り組む背景と目的

No	意見者	該当頁	意見の概要	市の考え
—	—	—	—	—

2. 久留米市が抱える土地利用の課題

No	意見者	該当頁	意見の概要	市の考え
1	団体	4	耳納連山の真下に水縄断層を有している久留米市では、地震に対する災害リスクもしっかりと警戒を怠らないようにすることが必要である。その旨をしっかりと書き込むことが必要ではないか。	当方針では、現在の土地利用の見直しにあたっての課題や取り組みの方向性を掲載しています。 なお、都市計画マスタープランにおいて、「防災まちづくりの方針」を掲げ、災害に強い都市基盤の整備に取り組んでいます。
2	団体	4	子育てしやすい環境づくりや高齢者が暮らしやすいまちづくりの視点も必要ではないか。これを推進することで、さらに住みやすい久留米市になり、人口の維持も可能ではないかと考える。	当方針では、現在の土地利用の見直しにあたっての課題や取り組みの方向性を掲載しています。 なお、都市計画マスタープランの「都市づくりの目標」において、「安全・安心な暮らしを支えるコンパクトな都市づくり」を定め、都市整備の方針を掲載しています。
3	団体	6	無秩序に市街地が拡大していることについて、農地から宅地への転用が進んでいることをもっと強調してほしい。 農用地は減少していて、私たちの命を支える農用地減は見過すことができない。	ご指摘のとおりであり、「2. 久留米市が抱える土地利用の課題」内の「3) 市街化調整区域、非線引き都市計画区域の用途白地地域における土地利用の課題」において、いただいた意見の趣旨が伝わるよう文言の追記をいたします。

3. 市民生活に関わる主な課題と対応

No	意見者	該当頁	意見の概要	市の考え
4	個人	10	拠点形成に向けた適切な立地誘導の計画は賛成で、用途地域等を見直すべきだと思う。 いろいろな施設や居住を誘導するためには、駐車場や駐輪場の確保が必要だと思う。	日常生活に必要な生活利便施設が集積し、日常生活圏の中心となる拠点形成に向け、土地利用の見直しに取り組んでまいります。 いただいたご意見につきましては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。
5	個人	10	鉄道駅の周辺にお店や病院など日頃の生活に欠かせない施設があった方がよいと思う。特に個性があり魅力的な店舗があると、行ってみたい素敵な駅になり、その駅周辺に住みたいと思う人も増えると思う。	地域の特性に応じた、土地利用の見直しに取り組んでまいります。
6	個人	11	既に住宅地として形成されている地区では、工場などが撤退した跡地は柔軟な対応を図り、用途地域による用途制限を設け、住環境形成を図ってはどうか。	
7	個人	12	用途地域の変更等は難しく、時間がかかると思う。土地利用手法を柔軟に活用されることを望みます。	

4. 都市計画（土地利用）見直しの考え方

No	意見者	該当頁	意見の概要	市の考え
—	—	—	—	—

5. スケジュール（予定）等

No	意見者	該当頁	意見の概要	市の考え
—	—	—	—	—

6. 用語の解説

No	意見者	該当頁	意見の概要	市の考え
—	—	—	—	—

その他（計画全体に関する意見等）

No	意見者	該当頁	意見の概要	市の考え
8	個人	—	市街化調整区域におけるミニ開発について、開発地までの既存集落内の狭隘道路の取り組みが必要ではないか。	当方針では、現在の土地利用の見直しにあたっての課題や取り組みの方向性を掲載しています。 いただいたご意見につきましては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。
9	個人	—	犯罪や交通事故などが増えないような治安がよいまちづくりが大切である。	
10	個人	—	聞き慣れない言葉がたくさんあり、わかりにくい。	用語の解説の充実など、内容が明確に伝わるような資料づくりに努めます。
11	団体	—	イメージとして用いる挿絵は、性別に関わりなく平等に活躍できる社会であることが伝わるものを採用していただくよう配慮願いたい。	男女共同参画等の視点も踏まえた、資料づくりに努めます。